



原発災害からの復興と持続可能な地域社会の構築に向けた政策研究と発信

法文学部 教授 関 耕平

関研究室では東日本大震災、とくに福島原発事故以後の復興政策についての研究を行っています。福島県内では放射能汚染により一時期、住民が全員避難し、人口がゼロになった区域があります。徐々に人が戻っていますが、原発事故前の4分の1ほどの人口にとどまっている地域も珍しくありません。そうした地域の中でも、コミュニティの再生や地域産業の復旧に一生懸命になっている人々が多くいます。こうした取り組みを国や地方自治体がどのように支えていくべきか、福島県に通いながら、復興行財政政策についての分析と提言を行っています。

またこうした原発事故を繰り返さないために何が必要か、私たちの身近にある島根原発の歴史を分析しながら、日々考え、発信しています。

福島原発事故は、原発依存の日本のエネルギーのあり方を問い直すきっかけになりました。そんな中で、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの宝庫である農山村の可能性も開かれつつあります。こうしたことを学生とともに考えるべく、テキストも執筆・刊行しています。

